

おはなし会「こもれび」からの贈り物

3月から、おはなし会「こもれび」もお休みになっています。
暖かい陽だまりの下で子どもたちをいっぱい遊ばせてあげたいのに、今はおうちで、
絵本の中で、自然とふれあう楽しさを味わうしかありません。想像をふくらませて
おいて、外に出かけられるようになったら思いっきり自然を満喫したいですね。
そこで、今の季節に読んであげたい絵本を選んでみました。

*** 赤ちゃんに ***

- ・「おふるでちやぶちやぶ」…1970年発売以来愛され続けています
- ・「くつつあるけ」…歩くことそのものの喜びがストレートに描かれています
- ・「でてこいでてこい」…だれかがかくれているよ でてこいでてこい
- ・「たまごのあかちゃん」…リズム感のある言葉とびっくり箱をあけるような楽しさ
- ・「こんにちは」…あいさつの楽しさを教えてくれます
- ・「どうすればいいのかな？」…失敗して、考えて、学んで、うまくできるようになります
- ・「もこ もこもこ」…ページをめくるたびに次々に起こる驚きの展開！



*** 2歳くらいから ***

- ・「おにぎり」…読み聞かせてもらうだけで、熱さをこらえながら自分で作ったおにぎりが完成
- ・「パンツのはきかた」…はじめにかたあしいれるでしょー歌いたくなるような文章が続きます
- ・「かばくん」…きびきびした言葉の力と力強い絵は見事です
- ・「ぼくのくれよん」…カラフルで大胆なクレヨン画を見ていると、何かを描きたくくなります
- ・「なにをたべてきたの？」…何でもやってみる！子どもたちは、自由に思い描いていきます
- ・「タンタンのずぼん」…アイデア秀逸です
- ・「コッコさんのおみせ」…大人も子どもも、ぐぐっと遊び上手になれるでしょう
- ・「おやすみなさいコッコさん」…いつしか世界中のものと一緒に静かな月の光に抱かれます
- ・「おんなじおんなじ」…指をさしながら「おんなじおんなじ」と楽しめます
- ・「ちびごりらのちびちび」…「だいすき」の言葉が繰り返し響きます
- ・「でんしゃにのって」…はじめての電車絵本に最適です
- ・「14ひきのびくにつく」…これを読んだ体験は、子どもたちの心の中に残っていくでしょう
- ・「せんろはつづく」…子どもは線路をつなげる遊びが大好きです
- ・「はけたよはけたよ」…自分で成し遂げた喜びと達成感が伝わってきます
- ・「おでかけのまえに」…ほのぼのとのびやかで、親が優しい気持ちになれる。

*** 3歳くらいから ***

- ・「おおきなかぶ」…画面からはみ出して描かれたかぶがお話のスケールの大きさを感じさせます
- ・「ちいさなねこ」…素朴だが配慮が行き届いており、古めかしいと敬遠せずに読みたいです
- ・「たろうのおでかけ」…たろうを見守る大人たちの温かい視点を子どもたちは感じるでしょう

- ・「そらいろのたね」…家が生え、どんどん大きくなっていくお話に夢もふくらんでいきます
- ・「ね、ぼくのともだちになって！」…コラージュの技法がすばらしいエリック・カールの作品
- ・「カニ ツンツン」…様々な民族の言葉などをモダンアートの第一人者が描いています
- ・「ティッチ」…末っ子の心が大きくはばたきます
- ・「どろんこハリー」…ちょっと冷たいんじゃないかと思っていた家族の温かさを感じるでしょう
- ・「ゆかいなかえる」…たくましく生き抜く力を、ゆかいな4匹のかえるたちが教えてくれます
- ・「もりのなか」…卓越した想像力の作者に描かれた絵は、子どもたちの想像力を力強く支えます
- ・「わたしとあそんで」…温かさそのもの。日常に疲れたとき、ゆっくり開いてみたくになります
- ・「ぐりとぐら」…焼きあがったかすてらのおいしそうなこと！名場面です
- ・「わたしのワンピース」…1969年からずっと輝きを放つ。絵が変化していくだけでも楽しめます
- ・「しょうぼうじどうしゃじぶた」…じぶたの姿に、子どもたちはどんなに安心するでしょう
- ・「はじめてのおつかい」…新しいことへチャレンジする勇気が伝わってきます
- ・「おやすみみみずく」…明るい画風でユーモラスに描かれています
- ・「ロージーのおさんぽ」…絵が物語を語り始めます。対象年齢をものともせず、人気があります
- ・「おばけのバーバーパパ」…豊かな感情のある優しいピンク色のおばけは世界中で人気者です
- ・「サラダとまほうのおみせ」…おままごとがしたくなります

4歳くらいから

- ・「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」…黒一色の絵の中に、動き、勢い、速度、力があります
- ・「3びきのやぎのがらがらどん」…ノルウェーの昔話。物語の構成もリズムも絵も訳も完璧です
- ・「おおかみと7ひきのこやぎ」…ホフマンの絵によるグリム童話。質の高い感動的な絵本
- ・「だいくとおにろく」…民話の語り口を生かした文章と日本の伝統的な美しい絵
- ・「くいしんぼうのはなこさん」…柔らかな語り口と穏やかなユーモア。のどかな牧場でのお話
- ・「ぐるんぱのようちえん」…失敗を繰り返しながらも前に進む健気なぐるんぱにホッとします
- ・「おだんごぼん」…心地よいリズムのフレーズが心の中にずっと入りこんできます
- ・「かいじゅうたちのいるところ」…絵が段々大きくなって、子どもの内面の豊かさへと導かれる
- ・「ふしぎなたけのこ」…驚くほどのテンポで話が進み、絵巻のように展開していきます
- ・「たんぽぽ」…たんぽぽをみると、いくつになっても必ずこの本のページがよみがえるでしょう
- ・「ラチとらいおん」…文字の存在が目立ち、文字への好奇心をつのらせていくでしょう
- ・「みんなうんち」…生きものは食べるから、みんなうんちをするのですね
- ・「ペレのあたらしいふく」…風景や人物の穏やかさ、昔の暮らしの素朴さ、ものを作り出す喜び

絵本から童話への橋渡しに

- ・「こぐまのくまくん」
- ・「番ねずみのヤカちゃん」
- ・「こねこのピッチ」
- ・「パンのかげらとちいさなあくま」
- ・「むぎばたけ」



←散歩をすることが
どんなにすてきかを
実感させてくれます





5月になると、つくしに代わりスギナが青々としげり、たんぽぽはすっかり綿毛になり、水がはられた田んぼではカエルの鳴き声がにぎやかになります。田植えも始まります。麦の穂も風にそよいで気持ちがよさそうです。想像をたくましくして、実際に自然とたわむれる日がくることを楽しみに待ちましょう。



こいのぼり



スギナ



たんぽぽの綿毛



たけのこ



田植え



風にそよぐ麦畑

